



- アート」はいい意味で融合してきている。福井をはじめ、北陸3県はものづくり文化圏である。
- ・ ただ、そうした動きが地域経済にどう影響を与えているかを測る指標として、今あげられているざっくりとした県単位の「観光消費額」は適切ではない。もう一段掘り下げた指標を作るべき。
  - ・ 企業メセナ活動の推進については、経済産業省が実施しているトップランナー制度を文化分野でもできるとよい。優れた活動をしている県内企業を表彰していく制度があってもよいのではないか。
  - ・ 文化観光が国の一丁目一番地になりつつある中で、福井県は全国と比較してもいわゆる文化財系の行政は非常によくやっている。県のプランでも、各市町や各地域が取り組んでいることをどう後押しできるかということが重要になる。
  - ・ 地域の祭りについては、理事を務めている地域文化伝統芸能活用センターにおいて「まつりーと」という人手不足に悩む地域と、祭りに関わりたい地域外の人をつなぐマッチングサイトを作っている。これの県版をつくるなど、祭りや文化財などを守りたい地域と関わりたい人を結ぶ仕組みができるとよい。

#### [委員]

- ・ プラン全体としてはしっかり整理されているが、例えば固有名詞が「永平寺」くらいしか出てきておらず、福井県の独自性が見えない。福井県の強みをもっとプランの中に織り込むことはできないか。
- ・ 福井県という地理的に限定されたエリアの中で充足的に何をしていくかという話で終始している。世界、他県（特に北陸地方）、東京とどうつながっていくかという面的な視点があるとよい。
- ・ 県の立場から「アーティストの育成」というのは難しいのではないか。アーティストが自然と集まってくる環境作りが必要であり、それ以上はアーティストに任せるしかない。越後妻有の芸術祭のプロデューサー・北川フラムさんのような人材が住み着いてくれるような受け入れ体制が必要。
- ・ 福井県出身の著名アーティストあるいは福井県に縁はなくても福井県を愛してくれるアーティストを招聘して、子供達とのワークショップなどを開催してもらうことも大きな刺激になると思う。
- ・ 地元で貢献したいと思っている企業はとて多いと思う。企業が直接的に文化芸術活動を支援するというのは、予備知識がない企業や経営者にとってはとてもハードルが高いと思うので、まずはふるさと納税を活用した地元の文化芸術活動への支援という所から始めたらどうか。

#### [委員]

- ・ 文化振興を進めていく上で、教育委員会に取り組んでもらうべきことがたくさんあるはずだが、その部分を書ききれていない。
- ・ 福井県の文化全体が盛り上がっていたのは、美術教師が活発に活動していた時期だったが、今は兼務の美術教師が増え、1校に1名いないような状況。
- ・ 次世代育成というと、子どもたちばかりに目が行きがちだが、学校教育（教員）が牽引する部分が大いなので、プランでは学校現場の体制強化などについても触れてほしい。

#### [委員]

- ・ 骨子案に書かれていることが全て実現したら素晴らしいと思うが、どうやって実現するかを考えたとき、一番のレバレッジポイントは「アートサポートセンター（仮称）」の存在だと感じた。
- ・ 「アートサポートセンター（仮称）」にどんな機能を持たせて、どのような体制で、どこに作

るかで全く性格が異なってくるため、その方針をしっかりと検討し、迫力のある方針を描くことが重要。

[委員]

- ・ 以前、福井市には「文化会館」と「福祉会館」が街中に隣り合わせてあり、「文化のことなら文化会館」「福祉のことなら福祉会館」というわかりやすい拠点になっていた。名前は重要である。
- ・ 「アートサポートセンター（仮称）」という名称では、アートに興味のある人に偏ってしまうのではないか。
- ・ プランの内容は大変充実してきたが、できあがったプランをどう発信していくかが書かれていない。策定の過程も含めて、わかりやすい発行物があるとよいのでは。

[委員]

- ・ 指標について、プラン全体として「福井に住む人は全員表現者なんだ」と言えるような方向を目指している印象だったので、それを多様な関わり方を含む表現者として数値的なもので表して指標をつくれないうか。
- ・ アートプロジェクトは地域の活性化や掘り起こしになる可能性はあるが、必ずしも「地域の課題解決」につながらないことも多いので、表現を見直すべき。
- ・ 「アートサポートセンター（仮称）」について、誰が、どのように、どのような機能を持ってプランに書かれたことを実施していくのが非常に重要になる。名称についても大事な問題なので、様々な意見を聞きながら、よりよい、浸透していく名称になるとよい。

[委員]

- ・ 文化振興を図っていく上で人づくり（特に子ども）は要になる。骨子案では、体験活動の充実など、広く浅くみんなが平等にという観点が強く出ている印象だが、専門人材、エリート育成をしっかりとやっていくという視点も必要ではないか。
- ・ 助成金の申請書づくりに慣れている人のところに予算が集中する傾向がある。税金を効果的に使えるよう、予算執行の柔軟化を図っていくべき。
- ・ 特に企業メセナの話になると、「福井県出身の子は支援したいけど、そうでない子は…」という「福井県人フィルター」を感じる人が多い。福井県は移住先としては魅力的な場所なので、県外からも含めてクリエイティブな人材を確保していくためには「福井県人フィルター」を外していく必要がある。

[委員]

- ・ エリート育成について、行政がその視点を持つのは難しい面もあるが、文化芸術だけでなくアカデミックの領域でも地盤沈下が激しくなっている中で、全国的にみてもトップ人材の育成には心して取り組む必要が出てきている。
- ・ 骨子案は全体的にバランスよくできているが、全体に押し並べて広く行き渡ると文化が振興するかとするとそうではなく、やはりエリート育成もあることで、全体が引っ張られて裾野が広がるということもある。
- ・ 日本は美術教育自体が制作教育に偏っていて、鑑賞教育をほとんどしていないので、「参加」というと何か作るとか、演奏しなくてはいけないと思う人が多い。「アートサポートセンター（仮称）」を通じて「参加」の仕方にもいろいろあるということをうまく伝えながら、自分事として文化芸術活動に「参加」する人の広がりを上手く確保できるとよい。

[委員]

- ・ 金沢の音楽祭では、街中で音楽サロンなどを実施している。そのような他県の事例は大変参考になると思うので、ぜひ取り入れてほしい。
- ・ 部活動の地域移行が進んでいくと、子どもたちは指導者を求めてさまよい始める。今、行政で様々な受け皿の準備を進めていると聞いているが、県内アーティストの活躍の場を増やすことにつながられないか。
- ・ 「出張音楽堂」のような取組みは、アーティストを身近に感じたり、進路の参考になったりするるので、ぜひ継続してほしい。

[委員]

- ・ 企業メセナについて、個々の企業は社会貢献・地域貢献の必要性を感じているものの、情報がないために活動につながっていないという状況が見えてくる。骨子案に書かれている企業メセナの施策よりも、メセナに関心のある企業のネットワーク化やコミュニケーションの場づくりを、商工会議所や経済同友会などとも連携しながら一番最初にやっていくべき。
- ・ 2017年に開催された「文化芸術基本法」の一つの趣旨は「文化政策が総合政策化した」ということだと考えており、ぜひ他の政策分野と連携しながら文化政策を進めてくべき。
- ・ 例えば、防災協定を締結している自治体と普段からつながりをつくるために文化交流を行うなどすれば、防災予算を使って文化交流を実施することができる。
- ・ 骨子案の中で「アクティブシニア」の表現活動支援という書き方をしているが、高齢者と文化の接点は「アクティブシニア」に限られるものではない。ここ数年の骨太の方針には「社会処方」という言葉が入っているが、福井県が他県に先駆けてこの「社会的保障」の考え方を導入するなど、アクティブシニアに限定せず、全ての高齢者を対象に、積極的な活動促進を図るべき。
- ・ 資料1「8 推進体制」については、どのような施策を実施するかとは別の意味で県の文化振興における最重要課題になる。「アートサポートセンター（仮称）」をつくるのが柱になると思うが、継続的な検討が必要であることを認識してほしい。

[委員長]

- ・ 今回もいろいろご意見が出たが、骨子案の項目建てや全体的な骨組みに関してはご異論が無かったと思っている。
- ・ 今日ポイントだと思ったのは、文化政策が総合的な政策であるということ。観光やクリエイティブ、ウェルビーイングなど、生活に関わるあらゆるところを支えているのが文化政策であり、多面的な意味があるということを訴えていけるとよい。
- ・ プランの肝になるのが、多領域にわたる施策をどう進めていくのかという推進体制であり、さらなる検討が必要である。
- ・ 文化だけでなく、防災、教育、福祉、いろいろな分野との連携をしっかりと実現してほしい。
- ・ このプランを作っている状況とか、作った先の発信というのも大変重要。県民に伝わるようなもの、担い手として関わっている人たちも納得して一緒に進めていこうと思ってもらえるような発信をしていけるといい。
- ・ 企業メセナについては、社会貢献という視点もあるが、企業自体がクリエイティブになっていくということは、おそらくどの業種であっても必要なこと。あらゆる業種の企業にとって文化は可能性があるものだという認識を共有できるような取組みをつくっていけるとよい。

(5) 閉 会